



（写真）ベネズエラ情報通信省 “マドゥロ政権とトランプ政権 拘束者の交換で合意”

2025年7月18日（金曜）

## 政治

- 「[米国・ベネズエラ 拘束者交換を実施](#)  
～Cecot 収容者252人がベネズエラへ帰還～」
- 「[マドゥロ政権 米国人10・ベネ人59人解放](#)  
～政治的な理由による米国人拘束者ゼロに～」

## 経済

- 「[ベネズエラ経団連 新役員が決定](#)  
～代表決める投票で数字が合わず、詐欺疑惑～」
- 「[制裁強化 最大の負け組は米国？](#)」

## 社会

- 「[クラサオ ベネズエラ人人口は全体の2.7%](#)」

25年7月19-20日（土・日）

## 政治

- 「[ロドリゲス議長 交渉は米国政府のみと実施](#)」
- 「[野党 拘束者交換についてコメント](#)」
- 「[CNE 投票機の動作確認を実施](#)」

## 経済

- 「[2025年前期 新車販売台数は約1.5万台](#)  
～TOYOTAとJAC Motorsが首位争い～」
- 「[仏 Renault Logan 2026 ベネズエラで販売](#)」
- 「[Doppelmayr ロープウェーメンテナンス協議](#)」
- 「[ミランダ州 中国に太刀魚24トンを輸出](#)」
- 「[金融業界 最大190億ドルの融資能力あり](#)」

2025年7月18日（金曜）

## 政治

「米国・ベネズエラ 拘束者交換を実施  
～Cecot 収容者252人がベネズエラへ帰還～」

7月18日 エルサルバドルの犯罪者収容施設 Cecot に拘留されていたベネズエラ不法移民252人が解放された。

エルサルバドルのブケレ大統領は、自身のソーシャルメディアアカウントにて、飛行機に搭乗しベネズエラへ送還される拘留者の映像を投稿。

「本日、我々は Tren de Aragua 構成員であるとの理由から我が国で拘束していた全てのベネズエラ人を引き渡した」「彼らの多くは殺害、強盗、強姦など重大犯罪を理由に拘留されていた」

「4月に私が提案した通り、ベネズエラの複数の政治犯および人質として捕らえられている米国人の解放と引き換えに今回の解放を実施した」「今回のオペレーションは、長年人質の解放を拒んできた強権政権との数カ月 にわたる交渉の結果、実現したものである」

「今回の解放のために多大な努力をした米国・エルサルバドル政府関係者および神に感謝する」とコメントした。



(写真) @nayibbukele

マドゥロ政権も「エルサルバドルに誘拐されていた252人の自国民を解放することに成功した」との声明を発表。

「自国民の解放のために、我が国は国家の平和を脅かした罪で司法プロセスを受けていた米国人拘束者を解放するという高い代償を支払わなければならなかった」と説明した。

なお、今回の交渉にあたり、「スペインのロドリゲス・サパテロ元首相が仲裁者として尽力した」と補足し、サパテロ元首相に対して感謝の意を表明している。



El Gobierno de la República Bolivariana de Venezuela anuncia con satisfacción que ha logrado la liberación de los 252 ciudadanos venezolanos que permanecían secuestrados y sometidos a desaparición forzada en un campo de concentración, conocido como el CECOT, en la República de El Salvador.

Venezuela ha pagado un alto precio para conseguir la libertad de estos connacionales, a través de un canje con las autoridades de los Estados Unidos de América de un grupo de ciudadanos estadounidenses que se encontraban a la orden de la justicia, por su comprobada participación en delitos graves contra la paz, la independencia y la seguridad de la Nación.

El Presidente de la República, Nicolás Maduro Moros, siempre dispuesto a cuidar la vida e integridad de estos venezolanos sometidos a graves violaciones de derechos humanos, no tuvo ninguna duda de realizar este canje y rescatar así a estos migrantes venezolanos secuestrados en El Salvador por culpa de los sectores más extremistas de la derecha venezolana.

(写真) 大統領府

「マドゥロ政権 米国人10・ベネ人59人解放  
～政治的な理由による米国人拘束者ゼロに～」

米国国務省もマルコ・ルビオ国務長官の名前で、今回の拘束者交換についての声明を発表。

「トランプ大統領のリーダーシップのおかげで、ベネズエラにて拘束されていた10人の米国人を解放することに成功した」

「これまでベネズエラは、不当に拘束された米国人が最も多い国だった」「ベネズエラの政権が適切なプロセスを経ることなく、疑念のある拘束を続けることは受け入れがたい」「今回の解放により、ベネズエラで不当に拘束されている米国人はいなくなった」とした。

また、米国政府は、米国に帰国した10人の拘束者の写真を公表した。



（写真）在コロンビア・米国大使館（ベネズエラ担当）

なお、今回のオペレーションで解放されたのは米国人だけではない。政治犯と認識されているベネズエラ人も含まれている。

解放されたベネズエラ人の正確な人数、名前は公表されていないが、7月20日の時点で非政府系団体「Justicia, Encuentro y Perdón (JEP)」は、59人の政治犯が解放されたと発表。解放された政治犯のリストを公表している。

一方、別の非政府系団体「Foro Penal」は48人としており、両団体の発表には11人の差がある。

ディオスダート・カベジョ内務司法相は7月18日の時点で「80人のベネズエラ人も同様に出て行った」

「今後も増えるだろう」と言及しており、新たな政治犯の解放が見込まれている。

なお、現在解放が確認されたベネズエラ人の中で最も有名な人物は、野党政治家の Williams Dávila 氏（下写真の男性）だろう。

Williams Dávila 氏は、行動民主党（AD）に所属する政治家で治安悪化の計画に加担したとして2024年8月に拘束され、約11カ月拘留されていた（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1104」](#)）。



（写真） Sumarium

## 経 済

「ベネズエラ経団連 Fedecamaras 新役員が決定  
～代表決める投票で数字が合わず、詐欺疑惑～」

7月18日 ベネズエラで最も規模の大きな経済団体「Fedecamaras」の総会が開催され、2025年～27年の新役員が決定した。

新役員メンバーは以下の通り。

- ・Felipe Capozzolo 代表（下写真の右から2番目の男性）
- ・Tiziana Polesel 第1副代表  
（下写真の左から2番目の女性）
- ・Rafael Trejo 第2副代表（下写真の一番右の男性）
- ・Celso Fantinel 会計担当（下写真の一番左の男性）



（写真）Bitacora Economica

Fedecamaras の役員メンバーの決定は、加盟企業の投票により決定する。

投票数は171票。

Tiziana Polesel 第1副代表は、97票を獲得して当選。

Rafael Trejo 第2副代表は、90票を獲得して当選。

Celso Fantinel 会計担当は、89票を獲得して当選。

この3役職は、大きな問題なく当選したが、Felipe Capozzolo 代表の投票に関しては混乱が起きた。

最初の発表では Felipe Capozzolo 候補が87票、対抗候補の Luigi Pisella 候補が86票で1票の差で Capozzolo 候補の当選が発表された。

しかし、両者の票の合計が173票で、171票にならず再集計を実施。最終的に Felipe Capozzolo 候補が87票、Luigi Pisella 候補が85票で2票の差となった。

それでも172票なので、171票にならないが、「仮に Capozzolo 候補への票が1票減っても結果は変わらない」との認識になったためか、（詳細は不明だが）選挙運営側は Capozzolo 候補の当選を決定した。

そのため Pisella 候補を支持するグループが選挙運営当局に詰め寄るなど混乱が起き、疑念が解消されないまま総会は終了した。

選挙管理当局は「システムエラーが起きたため」と釈明しているが、納得できる説明とは言い難く、疑念は払しょくされないまま Capozzolo 候補の当選が決定している。

また、Capozzolo 新代表以外の3役職者は Luigi Pisella 候補の陣営に属する人物であり、Fedecamaras の役員は代表とその他3役職の所属グループが異なる「ねじれ」の状態になっている。

なお、「[ベネズエラ・トゥデイ No.1235](#)」で触れたが、元々、Luigi Pisella 氏が次期 Fedecamaras 代表になる方向で話が進んでいたが、急遽 Capozzolo 候補が立候補し、両者の投票に至っている。

つまり、Capozzolo 候補の立候補は、現在 Fedecamaras の代表を務めている Adán Celis 代表にとって「寝耳に水」だったと言える。

通常だと、新代表の宣誓式には現在 Fedecamaras の代表を務めている人物が同伴するが、Adán Celis 代表は、Capozzolo 新代表の宣誓式に同伴しなかった。

選挙で混乱があったため登壇しにくかったか、あるいは Capozzolo 新代表の当選に暗黙の抗議を示すためなのか理由は不明である。

## 「制裁強化 最大の負け組は米国？」

2025年5月 トランプ政権は制裁ライセンス No.41 を失効させ、Chevron のベネズエラでの事業を停止させた。

本件について、英国シンクタンク「国際戦略研究所 (IISS)」の Mark Feierstein 主席顧問は、「Chevron の事業停止により生じた空白は、米国の制裁を重要視しない国々により埋められている」と指摘した。

また、「Palm Beach State College」の Luis Fleischman 教授は、

「トランプ政権の制裁強化方針を受けた最大の負け組は米国自身」

「勝者は中国とロシア」「米国は、中国・ロシア・イランにチャンスを与えている」「中国は、以前よりも多くの原油をベネズエラから受け取っている」「中国のプレゼンスをベネズエラで縮小させたいのであれば、反対のことをするべきだった」

との見解を示した。

なお、Fleischman 教授は、ベネズエラ問題に関わらず、トランプ政権が就任して6カ月で行ったこと、具体的には USAID の閉鎖、関税引き上げなどは中国に有利に働いているとの見解を示した。

## 社 会

### 「クラサオ ベネズエラ人人口は全体の2.7%」

オランダの自治島である「クラサオ（キュラソー島）」とベネズエラの距離はとても近い（下地図）。

ベネズエラ移民が近隣国に流出する中、地理的に近いクラサオも大量のベネズエラ人が流入するとの懸念があり、クラサオは厳格な入国管理を行っている。

その結果か現在のクラサオ人口の中のベネズエラ人の割合は比較的抑えられているようだ。

「クラサオ統計センター（CBS）」の発表によると、現在クラサオに住むベネズエラ人の人口は約15.6万人。クラサオ全体の人口の2.7%だという。

なお、2011年当時、クラサオのベネズエラ人人口は全体の1.1%だったので、10年間で1.6ポイント上昇したことになる。



（写真）Google MAP

2025年7月19日～20日（土曜・日曜）

**政 治****「ロドリゲス議長 交渉は米国政府のみと実施」**

7月20日 ホルヘ・ロドリゲス国会議長は、米国とベネズエラの拘束者交換取引について言及。

今回の交換取引に関して、「今回の交渉は米国および米国政府関係者のみと行った」「リモートを含めてピエロ（エルサルバドルのブケレ大統領のこと）と交渉を行ったことはない」との見解を示した。

ロドリゲス国会議長は、マドゥロ政権の交渉担当者であり、本件について交渉を行っていた人物である。

本レポート「米国・ベネズエラ 拘束者交換を実施」でブケレ大統領の投稿を紹介したが、投稿文を読む限り、今回の拘束者交換にはブケレ政権も交渉に積極的に関与したように理解できる。

ロドリゲス国会議長は、この点について否定しなかったと思われる。

**「野党 拘束者交換についてコメント」**

米国とベネズエラの拘束者交換取引について、野党側も見解を表明している。

野党のリーダーを務めているマリア・コリナ・マチャド氏（MCM）が代表を務める政党「Vente Venezuela」は、今回の交換取引について声明文を発表。

「強権政権による拘束者の解放は、誘拐行為を政権維持のために使用していることの証明である」と批判。

また、解放された米国人・ベネズエラ政治犯に関して「数カ月、数年間にわたり恣意的に拘束されていたベネズエラ人家族にとって朗報である」「彼らの解放は、国際同盟国・人権団体・彼らの家族による抵抗の成果である」

「マルコ・ルビオ国務長官のリーダーシップにより実現したベネズエラで誘拐された米国人の解放は、マドゥロ政権への圧力が有効に機能したことの証明である」と指摘。

「ベネズエラには、まだ約1000人が政治的な理由で不当に拘束されており、野蛮な暴力を受けている」として、これらの拘束者の解放の必要性を訴えた。

**「CNE 投票機の動作確認を実施」**

7月20日 「選挙管理委員会（CNE）」のエルビス・アモロソ代表は、7月27日に予定されている全国市長・市議会議員選について、「投票のための資材は全て投票場に配布された」と発表した。

また、「投票場（ミランダ州 Filas de Mariche 第3倉庫）で投票機が正常に機能しているか確認を行った」と説明。

加えて、選挙監視団として外国から派遣された「ラテンアメリカ選挙専門家センター（CEELA）」の Marina Urrizola 氏、Nicanor Moscoso 氏も同伴し、投票機が正常に機能しているかどうかの確認を行ったと補足した。

**経 済****「2025年前期 新車販売台数は約1.5万台  
～TOYOTA と JAC Motors が首位争い～」**

「ベネズエラ自動車商工会（CAVENEZ）」によると、2025年前期（1～6月）のベネズエラの新車販売台数は14,965台だった。

2024年の年間新車販売台数が17,558台だったので、既に25年6月の時点で前年の年間販売台数の85%を達成していることになり、2025年の年間新車販売台数が24年を超えることはほぼ確実と言える。

ブランド毎の販売台数を見ると、販売シェア1位は「TOYOTA」で5,791台。新車販売台数全体の38.7%を占めている。

2位は中国「JAC Motor」の5,493台で、同36.7%。

1位と2位の差は僅かで、この2社のみで全体の75%超を占めている。

3位は中国「Changan」の931台で、同6.2%。  
4位は米国「Ford」の617台で、同4.1%。

1～6月の販売台数が判明している会社で言えば、5位は韓国「Kia」の397台（同2.7%）だが、伊「Fiat」の1～6月の合計販売台数は不明。

ただし、Fiatは5月まで毎月コンスタントに約100台を販売しており、恐らくFiatが5位あるいは4位になるだろう。

なお、イランの「Saipa」なども新車を販売しているがCAVENEZに所属していないからか販売台数は不明。このことを踏まえると、実際のベネズエラの新車販売台数は14,965台よりも多いと言える。

## 「仏 Renault Logan 2026 ベネズエラで販売」

仏自動車メーカー「Renault（ルノー）」は、ベネズエラにて「Renault Logan 2026」を販売している。

Renault Logan 2026の本体価格は12,721ドル。クレジットを利用することで初期費用は本体価格の半額、その後、465.46ドルの分割払いで購入することが可能である。



（写真）Bancaynegocios

## 「Doppelmayr ロープウェーメンテナンス協議」

ベネズエラの Leticia Gómez Hernández 観光相は、オーストリア企業「Doppelmayr」と面談した。面談の主な目的は、アビラ山 Warairarepano のロープウェーおよびメリダ州 Mukumbarí ロープウェーのメンテナンスについての協議だった。

「Doppelmayr」は、97カ国で5700のロープウェーを設置した会社。ベネズエラでは Warairarepano と Mukumbarí のロープウェーの建設に関与している。



（写真）Sumarium

## 「ミランダ州 中国に太刀魚24トンを輸出」

ミランダ州政府の Miguel Marín 経済多角化担当官は、バルロベント港から24トンの太刀魚が中国（上海）に向けて輸出されたと発表した。

「輸出促進に注力する政策により、バルロベントで新たな産業が創出され、349人の直接雇用と1400の間接雇用が創出された」と説明した。



（写真）ミランダ州政府 Instagram

## 「金融業界 最大で190億ドルの融資能力あり」

金融専門家 Leonardo Buniak 氏は、1990年代のベネズエラ金融業界は400億ドルを融資していたと言及。

一方、2025年6月時点のベネズエラの融資額は合計24億4710万ドルで歴史的に低い水準にあると説明した。

また、現在のベネズエラの融資額がGDP全体に占める割合は2.3%とし、ラテンアメリカの平均である40%と比べて著しく少ないとの見解を示した。

加えて、「ドル建てで見ると融資額の増加率も6カ月前と比べて0.85%しか増えていない」と指摘。融資の増加が停滞しているとの見解を示した。

特に25年2月から融資の増加が停滞しており、その理由について「為替レートが不安定になっていることが主な要因」との見解を示した。

また、Buniak 氏は融資が低迷している大きな要因として、過度に融資を制限する金融政策を挙げ、

「中央銀行が国内銀行の流動性を制限し過ぎており、銀行が融資を行う能力を毀損している」

「本来であればベネズエラの金融機関は、支払い不履行のリスクに陥ることなく、約190億ドル相当の融資を行う能力がある」

「金融業界、経済団体、ベネズエラ政府が協議を行うことでこの問題で合意に至ることが重要」との見解を示した。

以上